

改訂第3版によせて

ICLS コースは2004年から日本救急医学会認定が始まった。2003年4月から2011年9月末のデータでは総受講者数 131,761名、総開催コース数 7,973コース、11月現在認定コースディレクター 1,146名、認定インストラクター数 8,434名である。年間の受講者数 約24,000名、年間延べ指導者数 約30,000名、年間開催コース数 約1,600コースという巨大なコースに育った。

私は近畿大学の平出敦教授のあとをついで2011年4月にICLS コース企画運営委員会委員長に就任した。平出前委員長の時期に上述のように幅広い方に対する普及という役割はほぼ果たされ、今後は質の向上を図るという転換期にはからずもたすきを受けたことになる。

今回の改訂は3版になるが、コース自体が質の向上という命題を掲げる時期であるという点、JRC 蘇生ガイドライン2010に準拠した点という2つの大きな変革が読み取れるはずである。

内容については委員会のなかに兵庫県立西宮病院救命救急センター杉野達也先生を代表とするICLS コースガイドブック改訂ワーキングを作り、十分にご討議いただいたうえでできあがったものを、さらに委員会で磨き上げるという方式を取った。内容が素晴らしいのはワーキングの功績であり、万が一表現が不十分な点があればそれは私の責任である。ぜひフィードバックをいただきたい。

願わくばこの本を手にとって、ICLS コースを学んだすべての読者の方が心肺停止という緊急事態に際して、一切の不安なく蘇生を行い一人でも多くの市民の人生を救えることを祈念してこの稿を終えたい。

Ready GO !

2012年1月

日本救急医学会ICLS コース企画運営委員会 委員長
(岐阜大学大学院救急・災害医学分野教授)

小倉真治